

# 現代の女子大生にとって化粧とは何か

## ——SNS 時代における身体性の揺らぎ

小川 侑里

### 要旨本文

古来より女性は顔に化粧を施してきた。化粧をすることには様々な理由がある。古墳時代以前には、魔除けや呪術的な理由から化粧を施し、飛鳥時代以降には美意識や自身を魅力的にさせる化粧へと変化している。現代においても身だしなみや美しさ、自己主張などの様々な理由が挙げられる。ポーラ文化研究所(2020)によると、メイクアップをする理由として、15～24歳の若い女性の間では「自信を持ちたい」という回答がトップとなっている。このことから、化粧を施すことが自信のない自分を化粧によって変えたいという意識が見てとれる。さらに並行して、現代ではスマートフォンの普及により Instagram・Twitter・TikTok などの SNS の利用が急拡大してきた。これらの SNS は、自身の自撮りや生活スタイルなどを写真や動画として投稿するものである。多くの若い女性たちは SNS の利用者であり、不特定多数の人に自身の顔を晒すという行為によって、自身の顔を意識する原因となっている。

では、現代の自身の顔を意識する SNS 時代において、若い女性たちはどのような身体的影響を受け、過熱する化粧行動へと走らせているのだろうか。本論文ではこの現象について明らかにした。

調査方法は、女子大生たちの生の声から化粧行動を起こす動機や、化粧行動に SNS がどのような影響を与えているのかを聞くインタビュー形式を用いた。

調査の結果、現代の女子大生たちは、中学生・高校生という多感な時代に「顔の美醜」によって差別や不公平感を味わうという環境の中で生きてきた。それに加え、SNS の出現により自身の顔を晒す機会が増え、比較対象者も増えていった。その中には自分より「格上」の顔の人も「格下」の顔の人も大勢存在し、自分より「格上」存在には憧れの感情を抱き、「格下」の人を見ることで安心感を得ているのである。そして、その中で自分の地位を守るために、化粧という武器を使って戦っているということが明らかとなった。